

「うきはブランド推進隊」 新メンバーを紹介します

地域外の人材を招致し地域力を高める「地域おこし協力隊」の制度により、平成 26 年以降、順次 10 人が移住され、「うきはブランド推進隊」としてミッションに取り組まれてきました。

3 月末をもって 5 人が退任されましたが、新たに 4 人が着任されましたので御紹介します。

矢倉 紗弥佳さん
(インバウンド推進プランナー)



うきはにはじめて出会ったのは、3 年前の大学 2 年生のときでした。訪れた人を包み込む優しい雰囲気、どこを切り取っても絵になる美しい風景、舌が躍り体が喜ぶほど良質な食べ物、2 泊 3 日の滞在でしたが、魅力あふれるうきはでの暮らしに触れ、たちまち虜になってしまいました。それ以降何度もうきはに遊びに行くうち、私もいつかここで暮らせたらと夢見るように。今回、ブランド推進隊というかたちで夢が実現できたことを大変うれしく思っています。ミッションではインバウンド推進を担当します。うきはの魅力はきつと海外にも通じるはずで。暮らし、風景、食など様々なチャンネルでうきはファンを増やし、国境を越えて「うきはっていいよね!」と言いつけるような未来を目指し、一歩一歩皆様の力をお借りしながら頑張ります。よろしくお願ひします。

矢倉 誠人さん
(うきは暮らしプランナー)



はじめまして。4 月からうきはブランド推進隊に着任いたしました矢倉誠人です。3 月に大学を卒業し、生まれてから 23 年間過ごした奈良の地を離れ、うきは市にやって参りました。

主な仕事は、うきはへ移住を希望する方に空き家情報をお伝えすること、そして「空き家を活用すること」です。それ以外では、暇を見つけては新たな空き家を探して市内をぶらぶら歩いていますので、見かけた時に一言かけていただくとたいへん嬉しいです。

私はうきはが大好きです。このうきはという素晴らしい地と私のご縁を繋げていただいたのは、3 月に推進隊を卒業された馬場亮子さんでした。今度は私が、市内外の「人」と「モノ」のご縁をつなぐという気持ちを持って、空き家関係の仕事をしたいと思っています。頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

竹熊 若葉さん
(文化財保存活用プランナー)



皆さん、こんにちは! 人生で三度目の移住地・うきはに来て早一カ月、うきはの方の温かく開放的な雰囲気や明るさを日々感じております。

奈良の大学で文化財を総合的に学び、卒業後は沖縄で地域文化をサービスに取り入れたホテルに従事していました。その後、地元福岡で地域の文化や歴史を伝えたいと感じていた折、うきはブランド推進隊に出会いました。私の仕事は、これまでうきはで大切に守られてきた文化財を、いかに普及・活用していくかを考え、まちの元気に繋げることです。市内外問わず、多くの方に「うきはっていいな。」と感じてもらえるようにしていきたいと思っています。

市内を回る機会が多くなりますので、皆様の想いもぜひ教えてください。ただければ幸いです。どうぞよろしくお願ひします!

平田 順子さん
(うきは地域総合商社
外販促進マネージャー)



熊本出身ですが、昨年まで 20 年近く東京で生活しました。都会と地方をつなぐ仕事をしながら、身の丈にあった日常の暮らしを楽しむみたいという想いが年々大きくなり、昨年九州に Uターンしました。協力隊募集のきっかけで知ったうきはですが、自然と文化の調和が素晴らしく、ゆったりとした気持ちの良い空気が流れるうきはに魅力と可能性を感じました。今回、ありがたいご縁に恵まれたことをとても嬉しく思います。前職での広報経験を活かし、特産のフルーツを中心に、うきはの魅力を目から味わい、多くの方に PR・外販をしながら地域総合商社の一員として頑張りたいと思っています。

まずは市民のみなさまに顔を覚えていただけるように励みながら、一歩ずつうきはのまちに馴染んでいけると嬉しいです。どうぞよろしくお願ひします!